

# 精神科訪問看護研修

地域生活の継続と対処行動の獲得への支援

岩見沢市立総合病院

メンタルヘルス5階病棟 岩森 理紗

# 自己紹介

- ▶ 所属：岩見沢市立総合病院 メンタルヘルス科 開放病棟
- ▶ 病院概要 病床数474床 15診療科目
- ▶ 看護部理念 地域の皆様に 处处寄り添う看護の実践
- ▶ 看護部概要 看護単位 13単位
  - 看護体制 一般病棟7：1 **メンタルヘルス15：1**
  - 勤務体制 2交代、**3交代**、ミックス**夜勤制度**
  - 看護方式 固定チームナーシング+1Dayペアナーシング
- ▶ 病棟概要 病床数115床 開放病棟59床 閉鎖病棟56床
  - 主な入院疾患 統合失調症・双極性感情障害・うつ病・認知症知的障害など
  - 近年では自殺企図の10代の緊急入院もあり
- ▶ 部署所属年数 10年 チームリーダー、サブリーダーなどの役割を経験し、後輩育成にも携わっている

# 本研修会への参加動機

病棟での支援だけではなく、生活の場である自宅において利用者やその家族とどう関わり、生活を支えているのかを実際に見て学びたいと考えたため

多職種との連携や再発予防のための支援について理解を深め今後の看護実践に生かしたいと考えたため

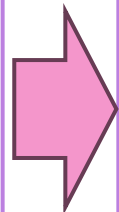
# 研修施設：訪問看護ぱるもいsステーション

- ▶ 理念：『精神疾患を持つその人自身と、その人がその人らしく生きる、QOLを高めることをともに考え、安心して地域で生活できるよう自己決定をサポートする事』
- ▶ 利用対象者：精神疾患を持つ方（家族やパートナーも支援対象）
- ▶ 構成スタッフ：看護師（精神科認定看護師）、作業療法士、ピアスタッフ
- ▶ **精神科訪問看護報告書**：医師と連携を図るための重要な書類  
→**地域生活を継続する上で重要な要素**

# 精神科訪問看護の実際

実際

- ・患者の生活環境や家族関係、地域とのつながりなど生活の実際を確認
- ・服薬状況の確認や精神状態の観察、生活上の困りごとや楽しみなどの相談対応
- ・医師やMHSW、ケアマネージャー、地域の支援機関など多職種と連携しながら支援



- ・利用者一人一人の生活に合わせた個別的な看護が提供されている
- ・再発予防や再入院の防止にもつながっている
- ・看護師だけでなく多職種で各方向からアプローチ

利用者の状況に応じて個別性を考えてケアの介入を行う

病棟での看護と共通している

利用者が地域生活を継続するには・・・

症状に対する手立てや自分の見立てができる力 **対処行動の確立** が重要

# 本研修を経て、実践していききたいこと

## 患者が対処行動を自ら取れるように

- ・不安や不快症状を自発的に対処できるよう普段の関りから意識付けを行う
- ・困ったときに相談出来るように家族支援、社会資源を調整する
- ・困ったとき本人・家族・周りの人が対処できるようにクライシスプランの作成
- ・地域生活に必要な能力（ADL、IADL）を整える

# 本研修を経て、実践していききたいこと

## 患者が地域や社会とのつながりが絶たれないように

- ・ 家族支援、社会資源を調整する
- ・ 退院前カンファレンスでは患者・家族、医師・PTR（理学療法士）・OTR（作業療法士）・MHSW（精神保健福祉士）・外来スタッフ・訪問看護師・ケアマネージャー等の多職種と顔合わせをし、ケアを共有する
- ・ 外来通院や訪問看護、ディケアなどの医療サービスや就労支援、地域活動支援センターなどの福祉サービスを利用できるように調整する
- ・ 看護サマリーに特に看護上の継続課題や本人の強みとなる対処行動を具体的に記載する

## おわりに

精神疾患を抱える人が地域生活を継続するためには、症状の安定だけでなく、日常生活の中で生じる不安や不快症状を対処する力を身につけることが重要である。精神科訪問看護師は、利用者の生活背景や思いを理解しながら個々に合わせた支援を行い、地域でその人らしい生活を支援することが重要であると学んだ。今後、病棟看護においても、患者の生活を意識した支援を行い、地域生活の継続を支える視点を持ちながら患者一人一人に寄り添った看護を実践していきたい

最後に本研修に参加する機会を頂き多くの学びを得ることが出来たことに感謝申し上げます